

「新美祢市病院改革プラン」点検・評価報告書

1 平成 30 年度美祢市病院事業報告

(1) 患者数

ア 市立 2 病院全体

市立 2 病院全体の延入院患者数は 6 万 7,290 人で、前年度に比し 4,452 人の減、外来患者数は 6 万 7,413 人で、前年度に比し 2,622 人の減となりました。

イ 美祢市立病院

美祢市立病院においては、延入院患者数は 3 万 8,650 人で前年度に比し 4,143 人の減、1 日平均入院患者数は 105.9 人で前年度に比し 11.3 人の減となり、延外来患者数は 3 万 8,363 人で前年度に比し 970 人の減、1 日平均外来患者数は 152.6 人で前年度に比し 3.7 人の減となりました。

なお、病床利用率は 76.7%となり、患者 1 人当たりの収益は、入院 2 万 5,482 円、外来 1 万 1,146 円となっております。

ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院においては、延入院患者数は 2 万 8,640 人で前年度に比し 309 人の減、1 日平均入院患者数は 78.5 人で前年度に比し 0.8 人の減となり、延外来患者数は 2 万 9,050 人で前年度に比し 1,652 人の減、1 日平均外来患者数は 119.1 人で前年度に比し 6.7 人の減となりました。

なお、病床利用率は 78.5%となり、患者 1 人当たりの収益は、入院 2 万 4,275 円、外来 6,627 円となっております。

(2) 収益的収支

ア 市立 2 病院全体

平成 30 年度の市立 2 病院事業の収益的収支は、事業収益 32 億 2,056 万 3,489 円、事業費用 34 億 1,168 万 821 円を計上し、差し引き 1 億 9,111 万 7,332 円の経常損失となり、これに過年度の非常勤医師賃金を清算するため特別損失として 66 万 4,000 円を計上したため、1 億 9,178 万 1,332 円の純損失となりました。その結果、この純損失に前年度未処理欠損金の 5 億 3,883 万 6,103 円を加え、7 億 3,065 万 7,435 円の未処理欠損金となりました。

イ 美祢市立病院

美祢市立病院は、事業収益 19 億 386 万 4,290 円、事業費用 20 億 7,633 万 4,450 円で、差し引き 1 億 7,247 万 160 円の経常損失となりました。

これに特別損失として 66 万 4,000 円を計上したため、1 億 7,313 万 4,160 円の純損失となりました。

ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院は、事業収益 13 億 3,116 万 9,364 円、事業費用 13 億 4,981 万 6,536 円で、差し引き 1,864 万 7,172 円の純損失となりました。

2 平成 30 年度における各種経営指標の数値目標と達成度

○美祢市立病院

		経営指標の数値目標と達成度					
		単位	H30 目標	H30 実績	達成 状況	特記事項	
1 病院機能・収益向上に関する指標							
① 入院患者数(1日当たり)	一般	人	72.0	61.1	△	患者数の減少による	
	療養	人	48.0	44.8	△	患者数の減少による	
	② 外来患者数(1日当たり)		人	158.0	152.6	△	患者数の減少による
	③ 救急受入件数(年間)		件	680	687	○	
	④ 紹介率		%	35.0	39.6	○	
	⑤ 逆紹介率		%	18.0	17.4	○	
	⑥ 在宅復帰率		%	91.0	87.9	△	
⑦ リハビリ件数(年間)		件	12,750	17,342	○	地域包括ケア病床増に伴うリハビリの増による	
2 経費削減に関する指標							
① 職員給与費対医業収益比率		%	68.2	76.8	×	医業収益の目標未達及び勧奨退職者の増による退職引当金の増による	
② 材料費対医業収益比率		%	18.0	15.5	○		
③ 委託料対医業収益比率		%	13.1	14.6	△	医業収益の目標未達による	
3 収支状況に関する指標							
① 経常収支比率		%	99.6	91.7	△	医業収益の目標未達による	
② 医業収支比率		%	90.8	80.8	×	医業収益の目標未達による	
③ 資金収支(単年度)		百万円	△ 4	△ 189	×	医業収益の目標未達による	

○美祢市立美東病院

		経営指標の数値目標と達成度					
		単位	H30 目標	H30 実績	達成 状況	特記事項	
1 病院機能・収益向上に関する指標							
① 入院患者数(1日当たり)	一般	人	50.0	47.2	△	患者数の減少による	
	療養	人	37.0	31.2	△	患者数の減少による	
	② 外来患者数(1日当たり)		人	127.0	119.1	△	患者数の減少による
	③ 救急受入件数(年間)		件	1,280	935	×	新規救急診療所の開設による
	④ 紹介率		%	50.0	52.5	○	
	⑤ 逆紹介率		%	33.0	30.5	△	
	⑥ 在宅復帰率		%	90.0	92.8	○	
⑦ リハビリ件数(年間)		件	15,000	17,288	○	理学療法士1名増加による	
2 経費削減に関する指標							
① 職員給与費対医業収益比率		%	79.0	81.1	△	医業収益の目標未達による	
② 材料費対医業収益比率		%	12.0	10.0	○		
③ 委託料対医業収益比率		%	13.4	16.2	×	医業収益の目標未達による	
3 収支状況に関する指標							
① 経常収支比率		%	102.0	98.6	△	医業収益の目標未達による	
② 医業収支比率		%	84.8	79.8	△	医業収益の目標未達による	
③ 資金収支(単年度)		百万円	14	△ 25	×	医業収益の目標未達による	

3 評価と経営改善に向けた取組み

(1) 評価

- 市立 2 病院とも入院患者数が減少し、平成 30 年度延入院患者数は全体として平成 27 年度並みまで低下しました。
- 更に、市立病院においては、平成 30 年 9 月に地域包括ケア病床を 15 床から 30 床に拡充したものの、その運用が軌道に乗らないことが、赤字に歯止めがかからない大きな原因となっています。
- 平成 28 年度に策定した「新美祢市病院改革プラン」に基づき、病院運営を行ってきましたが、収益的収支の赤字が縮小せず、内部留保資金が蓄積しないことにより病院経営は非常に厳しい状況になっています。

このため、令和元年 9 月、議会・監査委員より、より実効性のある中期経営計画の策定を求められるとともに、令和元年、2 年の 2 か年にわたり市より年 1 億円ずつの資本増強を受けることとなりました。

(2) 経営改善に向けた取組み

- これを受け、令和元年度において、改革プランをより実効性のある中期経営計画として全面的に改定し、データを最新のものに差し替えた上で、美祢市における現在及び将来の医療需要、美祢市立病院と美祢市立美東病院の現状及び問題点を明らかにし、その解決に向けた現実的な取組みを明確にします。
- また、市立 2 病院の延入院患者数の増加に向けて、策定中の全面改定版の趣旨に合致する経営改善を進めています。